

2019年4月12日

各 位

オリックス株式会社
オリックス・レンテック株式会社

自社開発の物流施設テナント向けにロボットを無償レンタル 自動搬送ロボットなど、新しく2機種の取り扱いを開始

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）とオリックス・レンテック株式会社（本社：東京都品川区、社長：小原 真一）は、オリックスが開発する物流施設のテナント向けに無償でレンタル提供する物流ロボットのラインアップを拡充しますのでお知らせします。

本日より、HIKVISION 社製の自動搬送ロボット「Latent Mobile Robot（レイテント・モバイル・ロボット）」と、ZMP 社製の台車型物流支援ロボット「CarriRo®（キャリロ AD（自律移動モデル）」の2機種の取り扱いを開始します。

本フリーレンタルサービスは、2018年5月より開始し、当社の物流施設へ入居されるお客さまを対象に、ロボットの導入効果を検証し、倉庫の自動化を推進いただけるよう、物流ロボットを6カ月間無償でご利用いただけるサービスです。本件2機種の追加により、ロボットの活用場面としてご要望が多かった「パレットや陳列棚ごと移動させる」「多くのカーゴを一度に運ぶ」というニーズにお応えします。これにより、物流ロボットの取扱いは9メーカー、10機種のラインアップとなります。



自動搬送ロボット「Latent Mobile Robot」



物流支援ロボット「CarriRo® AD」

近年、進化を続けるサプライチェーンや、伸長する電子商取引（EC）市場に対応できる大規模かつ高機能な物流施設への需要が増加しています。加えて、少子高齢化などによる労働力不足や物流コストの上昇という課題に対して、施設内における生産性向上の必要性が

Press Release



ますます高まっています。物流施設のテナント意識調査※によると、利用したい技術や機能について「無人搬送機、物流ロボット」「自動化設備」が2トップを占め、さらに、施設の老朽化が進むなか、約70%の企業が物流拠点の集約や再編を検討しています。

オリックスとオリックス・レンテックは、最先端の物流施設開発に加えて、各テナントニーズに合ったロボット活用のご提案から、導入効果シミュレーション、システム構築までをワンストップでサポートすることで、物流事業への新たな付加価値を創出してまいります。

※ CBRE「物流施設利用に関するテナント意識調査2019」

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 山本・前田・奥田・亀田 TEL:03-3435-3167

■自動搬送ロボット「Latent Mobile Robot」 概要

荷物をパレットや陳列棚ごと運ぶのに適しています。専用の陳列棚の下に入り込み、棚ごと持ち上げて搬送することができます。ロボットが個々の棚に貼られた QR コードのシールを読み取り、棚を適切な場所まで搬送します。最大積載荷重 600kg、1000kg の 2 ラインアップで、作業員の負担軽減や作業時間の短縮などにより、生産性の向上が期待できます。また、現在運用中の倉庫管理システムと HIKVISION 社のロボット運行管理システムの連携構築を行うことで、倉庫内の入庫・出庫の状況、在庫の状況などの情報をリアルタイムに把握してロボットに連携することができ、より効率的なロボットの運用が可能になります。

型式	MR-Q3C-LE600C1(H)	MR-Q7C-LH1000C2(H)
本体	140kg	300kg
外寸	幅 65cm、奥行き 94cm、高さ 25cm	幅 81.9cm、奥行き 113.7cm、高さ 32.5cm
最大積載荷重	600kg	1,000kg
最高速度 (最大積載時)	1.5m/s	1.2m/s
稼働時間	8 時間（稼働状況によって異なる可能性があります）	

■物流支援ロボット「CarriRo® AD」概要

従来の台車型物流支援ロボット CarriRo®に自律移動機能が加わった新モデルです。ビーコン（発信機）に反応して作業員や別の CarriRo®を自動追従する「カルガモモード」などの基本機能に加え、新たに「自律移動モード」を搭載しています。ルート上に最大 10 メートル間隔でシールを貼るだけで、必要なルートを設定できます。走行ルートはタブレット端末で都度変更することができ、業務の状況に応じた柔軟な運用が可能です。また、フックを引っかけて荷物をけん引することができるため、現在ご使用中のカーゴなどをそのまま利用することも可能で、既存の設備を更新せず気軽に導入することができるのが特徴です。

本体	55kg
外寸	幅 61cm、奥行き 91cm（ハンドル部分含む 96cm）、高さ 24cm
最大積載荷重	150kg
最高速度 (最大積載時)	6km/h（ドライブモード、追従モード）、3km/h（自律移動モード）
稼働時間	8 時間（稼働状況によって異なる可能性があります）

■物流ロボットフリーレンタルサービス

2002 年から物流施設の開発を手掛けるオリックスと、2016 年からロボットレンタル事業「RoboRen」を展開するオリックス・レンテックが共同で取り組むサービスです。物流業務を支援する自動搬送ロボットを中心に現在 9 メーカー、10 機種を取り揃え、用途に応じてロボットを選択し、導入に必要なシステム構築費とあわせて 6 カ月間無償でご利用いただくことが可能です。また、入居スペースの有効利用方法に加えて、ロボットの具体的な活用方法や導入効果シミュレーションなどをパッケージ化してご提案します。

■サービス対象施設

施設名	最寄 I.C.	竣工時期	延床面積
蓮田 I ロジスティクスセンター	久喜 IC より 5km	2018 年 2 月	10,513 坪
厚木 II ロジスティクスセンター	厚木 IC より 3.1km	2018 年 7 月	9,953 坪
蓮田 II ロジスティクスセンター	久喜 IC より 5km	2019 年 3 月	7,887 坪
松伏ロジスティクスセンター	三郷西 IC より 14km	2019 年 3 月	23,384 坪
枚方 II ロジスティクスセンター	枚方東 IC より 4km	2020 年 1 月 (予定)	17,217 坪

※ 各施設の詳細はこちらをご覧ください。<https://www.orix-logi.jp/>

※ 開発進捗に併せて順次対象施設は更新を行う予定です。

※ 2019 年 4 月 12 日現在、蓮田 I ロジスティクスセンター、厚木 II ロジスティクスセンター、蓮田 II ロジスティクスセンターの 3 物件については、入居募集を終了しています。

■サービス対象機器

メーカー	商品名		
日本電産シンポ株式会社	追従運搬ロボット	THOUZER	
シャープ株式会社	自動搬送ロボット	Smart AGV TYPE-A	
日本電産シンポ株式会社	自動搬送ロボット	S-CART 100	
オムロン株式会社	自動搬送ロボット	LD-90	
株式会社イノフィス	パワーアシストスーツ	マッスルスーツ® (スタンドアローン版)	
ファナック株式会社	ヒト協調ロボット	CR-35iA	
アマノ株式会社	清掃ロボット	RcDC	
Geek+ Inc.	AI 搭載 自動搬送ロボット	EVE	
ZMP 株式会社	物流支援ロボット	CarriRo® AD	NEW
Hangzhou Hikvision Digital Technology Co.,Ltd.	自動搬送ロボット	Latent Mobile Robot	NEW



THOUZER

Smart AGV

S-CART 100

LD-90

マッスルスーツ®

CR-35iA

RcDC

EVE



Latent Mobile Robot



CarriRo® AD